

きたきたネットワーク

おおさかハルコフ北地域活動委員会 2024.1.29 No.81



戦争こそ最大の環境破壊！



軍事活動は、税金と人材だけではなく、膨大なエネルギー・化石燃料を使います。世界中で消費される石油のうち、**軍事に使われるのは10%前後**。軍隊で使うのが3~4%、兵器生産に6~8%と推定されています。(91年レスター・ブラウン)。これは、日本の全消費量・70万klに匹敵します。この大量の石油消費は、温室効果ガス・CO2の大量排出につながります。

*例えば、自衛隊のF15戦闘機を1時間飛ばすには8000lのジェット燃料が必要です。

ディサービスの送迎車(燃費10km/lで年1万km走行)の8年分の燃料を1時間で使います。

戦闘機や戦車には「燃費重視、排ガス規制」もありません。

戦争は「持続可能な社会」とは真逆です。

*イラク戦争開始時、イラクに展開した米軍が1日に消費した燃料は5.7万klだと発表されました。

CO2換算で約15万t。日本の1日の排出総量の4.5%相当です。

インド洋で自衛隊がおこなってきた給油は48万klで、CO2排出量130万tに相当します。

軍用機が使う燃料…

航空機用ジェット燃料は、世界の総消費量の1/4近くが軍事に使われているとみられます。

アメリカでは1860万tで、国全体の27%、

旧ソ連では1180万tで34%に相当する燃料を軍が使用(91年)。日本でも航空自衛隊だけで日本航空の消費量の約18%・70万klを消費していた、という資料もあります(88年)。

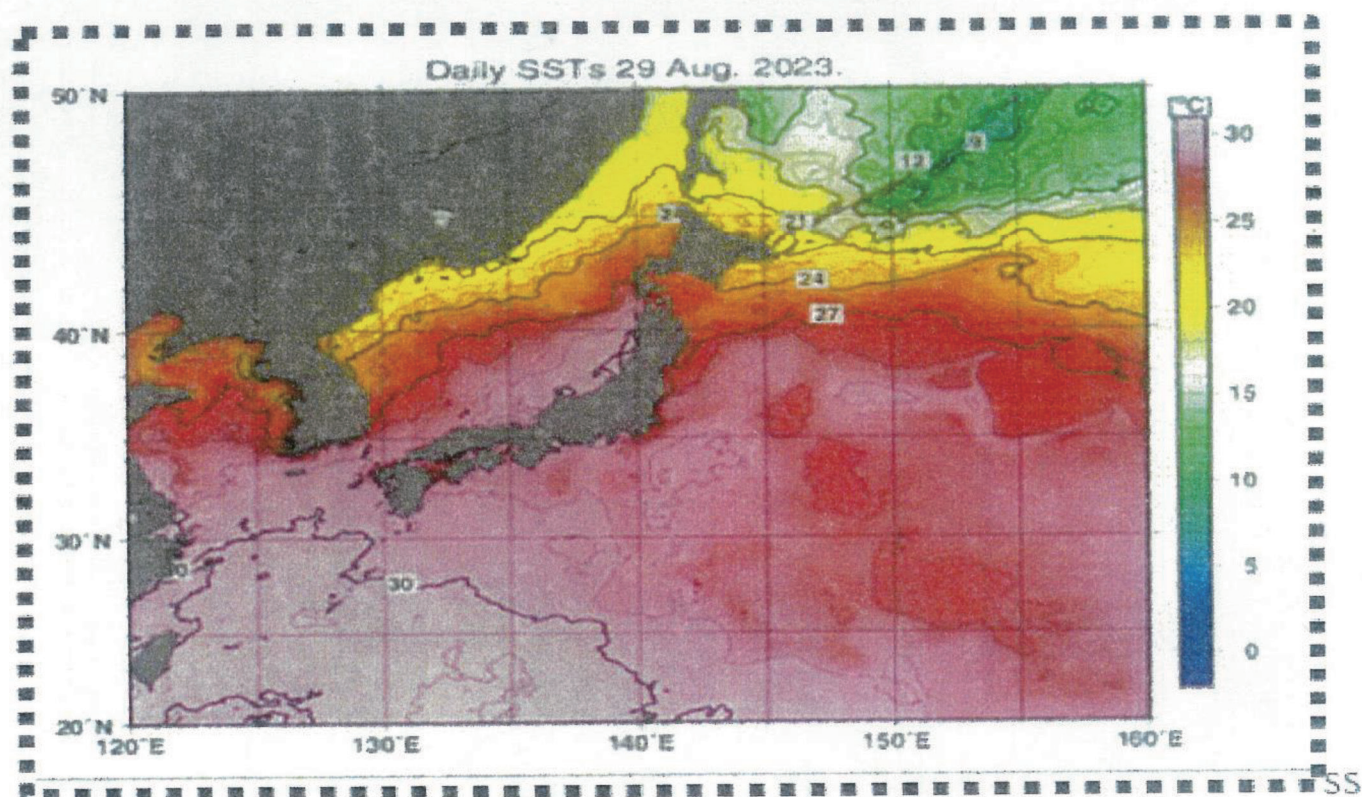
軍事演習と温暖化…

軍事演習時に消火に使われる大量のハロンは、オゾン層を破壊する。そのうえ、対流圏にオゾンが流れこみ、温暖化をすすめてしまう。オゾンは温室効果ガスでもある。



2023年8月29日、日本近海の海面温度30℃ 温暖化防止対策は緊急課題。

漁業・農業・林業…あらゆる産業と市民生活に気候危機の被害がおよぶ。



※日本の四季が失われつつあります。

昨年は猛暑日が続き、又豪雨により農業・漁業への影響が大きかった事を実感しました。